

KAPD

ウィズ（共に）

With

くまもと障害者労働センター &
あきた共同作業所 通信

1995年10月号

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

くまもと障害者労働センター

ハートフル講演会

講演 東俊裕弁護士

期日 11月12日（日曜）午後1時より

場所 大江市民センター



「法律からみた

入場無料

今日の障害者問題」

「くまもと障害者労働センター」はこれまで一貫して障害者の自立はどうあるべきかということを追求してきました。世の景気の荒波に揉まれるなか、しぶとく10年の歳月を地域の中で頑張ってきました。

私たちは自立を「自分の意思で生きて、社会参加すること」ととらえています。ただ自立生活には住居・食事・介助・経済・仕事や人間関係など様々な問題が横たわっています。問題に直面したとき何らかの形で解決していかなければ自立とはいえないと思いますが、どのように考えていいかわからない難問も多くあります。そんなときふと日本の法律はどうなってるのかと思います。

そこで「法律からみた今日の障害者問題」と題しまして東俊裕弁護士の講演を企画しました。みなさんのご来場をお待ちしております。

発行一
一九八

五月十三日第三種郵便物認（毎月四回十・十五・二十の日）
九年十月十五日 KAPD 通巻第一八九号

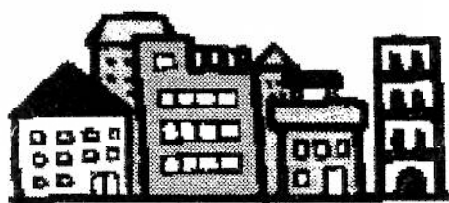
くまもと障害者労働センターを
応援して下さい

「Withの会」に加入しよう！

Withの会とは

「Withの会」(くまもと障害者労働センターを支援する会)を組織しました。会員制として皆様に参加し、応援して頂きたいと願っております。どうか、これからは私たちと一緒に、悩み、喜び、楽しみながら「障害者の完全参加と平等」という理念が地域にしっかり根づいた大木になれるように育てていって下さい。

- (1) 会費は年額2000円です。
- (2) 会員には通信「With」が毎月送られてきます。



リサイクル環境フェアに参加して

9月30日と10月1日に辛島公園でバザーがありました。いろんな所からさまざまな商品が並べてあり、販売していました。体験コーナーでは、廃油石鹸作りやぼかし作りがありました。労働センターは、リサイクル商品の販売で参加しました。一日目は、最初は、あまり売れなかったけど時間がたつにすれて人が増えて売れてきました。一日目は、3時過ぎごろから雨がふりだして、寒くなって雨、風がひどくなってかたづけが大変そうでした。

二日目は、同じ内容で昼からRKKラジオがリサイクルフェアの放送があり、歌謡曲のリクエストもあり、僕も、初めてリクエストをし、ZARDの揺れる想いをリクエストしました。また、施設では、出来ない事ができたと思い嬉しかった。販売の方は、思ったより売れて、労働センターとしては、良かったと思いました。てつだってくださった方ありがとうございました。

K・O

リサイクル環境フェアに参加して

9月30日10月1日辛島公園にて熊本市のリサイクルフェアが11:00～3:00まで行われました。

朝は労働センターに集合してバック連の田中さんに迎えにきて頂きリフトバスを運転してもらいました。8:30にセンターを出発して辛島公園に行きました。辛島公園に9:00ぐらいについて販売の準備をしました。労働センターは紙すきセットやノートやメモ帳などを販売しました。バック連と生協の組合員さんが紙すき実演をされました。

30日は雨天だったためお客さんは少なかったけど10月1日はお客さんが多くセンター品物も売れたので嬉しかったです。紙すきは人気がありけっこう売れたので良かったです。子供服も近くのお店から仕入れて売ったけどだいぶんうれしかったです。

あきた共同作業所は廃油を使った石鹸の実演をされました。私も少しだけ実演してみましたけどあまり力が入らなくて石鹸が少し下に落ちただけでした。

お昼にはRKKのラジオワイワイ屋一番が生放送でありました。RKKのアナウンサーのララさんと江上さんがまわってこれアピールをして下さいといわれたので緊張してしまいました。バック連の皆さん生協の組合員さんあきた共同作業所の皆さん2日間お疲れさまでした。ありがとうございました。

野口美枝子

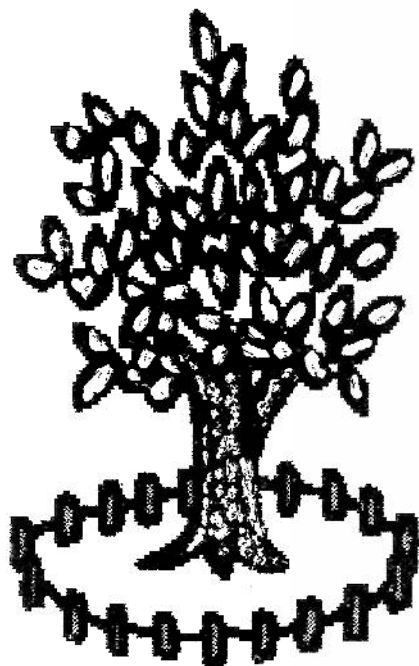


10月8日木の日に参加して （ウッディウィーク）

監物台樹木園にて生協とバック連と労働センターがウッディウィークのイベントに参加しました。

朝の9時にバック連の下村さんに迎えに来てもらってグリーンコープのトラックに荷物を乗せてもらって搬入して頂き、松井さんの車にも荷物を乗せてもらい3台で行きました。生協の組合員さんに紙すきの実演をしてもらいました。労働センターは紙すきセットやリサイクルのメモ帳や小物などを販売しました。バック連の方に販売を手伝ってもらいました。トイレトペーパーの無料配布と再生紙の当てっこクイズをしました。それと会場では家族連れで木を使った椅子や柵を作っていました。ノコギリで怪我をしてる人もおられました。天気が良かったのでお客さんも多くみんな柵を作ったり一生懸命だった見たいです。

販売は紙すきセットが一番売れました。センターの売上は18410円でした。生協・バック連の皆様ご協力頂きありがとうございました。これからもイベントや販売等に力をいれてがんばりたいと思っています。これからもご支援ご協力をよろしくお願いします。私達も体を壊さないようにがんばって行きたいと思っています。皆様お疲れ様でした。どんな事を書いたらいいかすごく考えました。



野口美枝子

ネイブルランドに行って

10月3日火曜日に希望荘のみなさんと大牟田のネイブルランドに行ってきました。市民会館前に朝の8時30分に集合してそれから9時に出発しました。そして、ネイブルランドに行く時は、高速道路使わず普通の道を使って行きました。それから長洲町の金魚と鯉の里で休憩をして、そして11時30分に出発して、お昼の12時にネイブルランドにつきました。それから、いろんな所に見たり、乗り物に乗ったり、私が乗ったのは、コロンブスとドリームカーセルシオトレヘンに乗ってきました。

そして、午後の3時にネイブルランドを出て、熊本に帰ってきたのは、5時でした。希望荘のみなさん10月3日は、お世話になりました。ありがとうございました。おつかれさまでした。

市瀬 恵

精神障害者に理解を

現在精神障害者は100人中1人がかかる病気で、その中で3分の1が入院していると新聞にのっていました。

私の知人のA君の話をします。

A君は小・中・高と普通の学校生活を過ごしていました。しかし高校でいじめにあいました。A君の話を聞きますと、クラス半分が殴る蹴るの乱暴でした。優秀な成績も卒業する頃は最下位の方でどんどん落ち込んでいったのです。まじめで優しく人気者で人にもすかれる人柄の彼が、いじめられるなんて、私もこれはかわいそうだと思います。A君に夢はなんだったのかと聞きますと、高校を出たら大学に行き、パイロットになりたかったと言っていました。その夢も数人のいじめでだいたしになりました。卒業後彼は精神病院に入院しました。その後は知りません。

これを聞いてみなさんは精神障害者が悪い、こわいと思いますか。この話を聞いて社会の人が心を動かさないなら、その人たちは血も涙もない人です。どうか精神障害者をもう少し理解してほしいと思います。これから10年後、100年後には特効薬ができるのでしょうか。それとも社会の方が変わるのが先でしょうか。これを読んだ人は、心を開いて少しでも精神障害者を理解して下さい。

車椅子市民集会大成功

ヒューマンネットワーク事務局次長

澤田新一さんに聞く。

◆ご成功おめでとうございます。

◎有り難うございます。でも三日間は徹夜みたいな状態で大変疲れました。小さいところでは連絡ミスなどありましたが成功したと思いますし、熊本で開いた意義もあったと思います。

◆マスコミにもよく取り上げられましたね

◎はい、こちらからも積極的にマスコミに出るようにしていきました。テレビ局から取材にこられたとき、なにか出演して宣伝する番組はないですかとお願いしましたところ、その人が働きかけられたので、「クイズ一万円ジャック」という番組に出演して車椅子市民集会の宣伝をしました。一万円はもらえませんでしたけど、思わぬ人から見たよと言われ十分PRにはなりました。

◆何人くらいの障害者やボランティアが参加しましたか。

◎400人ちょっとです。県外から300人くらいで県内が100人くらいです。ボランティアが3日間で延べ2000人です。県内の障害者の参加者が少なかったのはボランティアとかホテルの手配で精一杯で県内の障害者にはPR不足でした。

◆澤田さんはどういう仕事をされたのですか。

◎事務局次長と広報担当を勤め、支援のための広告料を集めてまわったり、実行委員会の準備や資料の作成をしました。去年の9月から始めましたが、本格的には今年5月から集中して取り組みました。

◆どんなことに苦労されましたか。

◎6割ぐらいの企業からは好意的に広告料を出していただきましたけど、つっけんどんな態度で追い返されたところもあります。企業名は言えませんがね。県や市からは助成金も出していただき大変ご協力頂きました。みんな初めての経験でどういう事からやっていいのかわからず、試行錯誤で取り組みました。大会の運営費をどのように捻出するか、交通アクセスをいかに確保するか、宿泊するホテルの調査、ボランティアの確保などやらなければことが山ほどありました。

◆具体的には

◎運営費については、とにかく企業にパンフレットの広告料として協力してもらえるように、企業めぐりをしました。交通アクセスについては空港から会場やホテルまで足をどうするかでした。労働センターや施設のリフトバスを提供してもらったり、交通センターと長嶺間を営業している九州産交の路線リフトバスを提供してもらったりした結果、何とか問題なくアクセスすることができ、さらに水前寺公園の見学とか熊本城の天守閣に登るとかまでで

きて参加者には喜ばれました。ホテルについては部屋に車椅子がはいるかどうか、トイレ、エレベーター、会場との距離などをチェックしました。ボランティアについては学校関係とか、新聞での公募、自衛隊などは人のつてでお願いしました。自衛隊があそこまで協力してくれるとは思いませんでした。手動の車椅子が市電に乗るときなどみんなで抱えて乗せるので県警の機動隊が協力してくれたり交通整理をしてくれました。またボランティアのための車椅子講習会などを開きましたが、割り当てや当日の連絡調整などでは苦労しました。

◆どんな成果があがりましたか。

◎うーん。まだ終わったばかりで成果など実感がわきません。

◆どうもありがとうございました。

「第十二回車いす市民全国集会・熊本」が熊本市で七日から三日間の日程で始まった。「自立生活問題研究全国集会」も初めて合同で開催。全国の障害者ら約四百人と、延べ二千人のボランティアが参加、「人生を築きしもうよ」をテーマに、障害者を取り巻くさまざまな問題を話し合う。

同市水前寺公園の市体育館であった開会式では、内野昇実行委員長が開会宣言。廉田俊二・全国運営委員長が「自立とは人生を築くこと。全国の障害者と交流を深めてほしい」とあいさつした。メインストリーム協会（兵庫県の障害者団体）の玉木幸則副代表が阪神大震災の被災状況を報告、「広域避難所には、障害者や高齢者も不自由なく使える施設が必要」と訴えた。

その後、障害者らの音楽グループ「わがままチンパンジー」のバンド演奏、山鹿灯籠踊りなどが披露され、交流を深めた。

同集会は昭和四十八年の仙台集会から二年ごとに開催。熊本集会の企画・運営は「ヒューマンネットワーク・熊本」の障害者らが中心になって進めてきた。

八日は同市大江二丁目の熊本学園大キャンパスを中心に「バリアフリー」「障害者の性」「介助保障」など十分科会で、障害者の自立や福祉について考えるほか、電動車いすサッカーやカヌーキャンプを体験する。九日は同市草葉町の白川公園で閉会式と「第二回バリアフリーデザイン賞」授賞式。その後、熊本城までパレードして天守閣登りに挑戦する。

駅、空港には不備も

○七日から参加の障害者ら約三百人が列車や旅客機で続々と来熊。熊本空港では、貨物扱いで分解された電動車いすの組み立てなど、関係者三十人が大忙し。チャーターしたリフト付きバス二十三台に乗るまで必死の作業が続いた。

JR熊本駅では、駅職員やボランティアが参加者名簿と到着時刻メモを片手に構内を走り回った。車いす用の階段昇降機は一台だけで、参加者がホームに待ちぼうけになる光景も。駅も空港も、多くの車いすが円滑に利用するには不備が多。事前に打ち合わせ

車いす市民全国集会始まる

障害者ら400人が交流

熊本市

が重ねられたが、関係者は対応に追われた。



おてもやんだよい

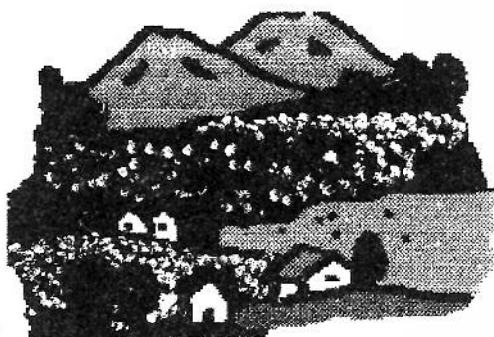
松田美知子

ドタバタ騒ぎ

二十数年前、私が施設に入所したのは梅雨の終わり頃でした。雨が長く続くと低い屋根のモルタル建築は湿気と暑さでムンムン蒸して窓を開けたいのですが、雨が~~はげ~~しい時はそうもできず、端と端が開いている廊下でみんな沈んでいました。後で耐久性に乏しく湿気を含みやすいのがモルタルの欠点と知りました。

広い家に住み慣れ何不自由なく育ったお嬢様(?)が、よう、そげな所にとられるかもしれませんが、家で小間使いのように使われるのが嫌でたまらなく、同じ年頃の女性が社会でてきぱき働くのを見るにつけ、落ちこんでいました。5月病のヒステリックな怒りとやるせない鬱に似る症状でしたが、毎年となるとやっかいなものに他ならず、そういう所為からの解放でした。そして何よりも私のような障害のある者どうしが、社会の片隅でひっそりと肩を寄せあい励ましあいながら生きているのを目の当たりにして感動せずにはいられませんでした。

しかし森をバックにした美しい白いコンクリート建てが実はモルタル建築で、こうも住み難いなんて誰が想像できたでしょう。とうとう私は三日目でジュースがないのに事かけて「お菓子や飲み物を持ってきて」と家に電話がないので鏡町の叔母に電話しました。店をそっちのけで取る物も取りあえず、叔母はバイク飛ばして母に伝え、折良く大阪の叔父が帰っていて叔父と母と妹と軽トラックで来てくれました。



「こんな人里離れた所に一人でおきる。はよ、家に帰りや」

こっちに来たら、八代弁と大阪弁のチャンポンになるのでおかしかったが、笑いこらえ「うん、わかった」とききわけよくしておりましたが、ここが気にいっていたので、その気はぜんぜんありませんでした。

「そぎゃん、ここの食事はまずかとね」とマジに心配そうに私をのぞき、スーパーの袋の中身をいちいち開けチョコレート、スナックと説明するので、「ううん、おやつがなかけんお腹がすぐだいたい」とセンペイをかじりながら答えると「なんだ。お母さんは叔父さんを始めとする親戚一同から、美知子ばそげな施設に入れてと非難されたとばい」といつになく声を詰まらせて目が潤んでいて、日頃顔を見れば三日と開けず喧嘩ばかりしてる癖に会わないと母の態度が変わり、私は少し家が懐かしくなりました。

でも家から離れて思いっきり羽を伸ばせてせいせいしているとも言えず、毎日八代の竜峰山に来ているようで楽しいと付け加えました。すると安心したのか「帰るけんね」と帰ろうとしました。軽トラックでドカドカと家族が来たものですから事務の方が何事かと、園長先生がわざわざ母を呼ばれ、訳を話すと「あはははは」と笑われました。

先輩に言わせると、「親もほとんど来ない人がおるとに物々しく来るからよ」とタバコをふかしました。それでも園長先生は田舎の不便さを感じられたのか、週一度園の先生が近くの日用品が欲しい者を連れて買い出しに連れてってくれるようになりました。よく新聞などで施設の辺鄙さが問題になりますが、そういった不便さを除けば空気は綺麗で快適でした。

「セクハラか愛か」その後

ただ人間関係は難しいところもあって、こういうこともありました。前号の「おてもやんだより・セクハラか愛か」で女子風呂に入った男の人をなじったと書きましたが、あの後、そのことで女子園生を取り仕切っていた年輩の女性に呼ばれました。彼女の部屋は主に編み物料の人ばかりでした。座ろうとしても座れず立ったままで膝掛けをした彼女の言葉を待ちました。

「あんたかね、風呂場で男子をこづいたのは？」

あん人は編み物料の婚約者だけん許しとっと、〇〇さんの恋人でもこの部屋に入ることは許しとるけんね」

でも私は風呂場はちょっとひどすぎるとじゃ？とふてくされましたが、無理に言い訳すると変にからまれて、こじれると大変なので「はい」と言わんといかんよと先輩からアドバイスもあったので、腹は立ってましたが、にこやかに「ハイ」と返事しました。そしてあたりを見たら、みんな私の足を見ているのです。うかつにミニスカートもはけないのだからうかつと部屋に戻りますと、

先輩がニヤニヤしながら「どぎゃんだった」と聞くので

「職員よりいばってるよ」と答えますと、

先輩は「連中はあんたが若いくせに確然としているのをねたんでるよ。それに金持ちじゃなからうかとね」と言いますので、

私は「この服は安い半端布で母が作ってくれたものよ。金持ちだろうと貧乏人だろうと障害者にや変わりなか。それに私に言わせてもらえば編み物料のあの人達の方が仕事はできるし、うらやましか」と言いました。

（つづく）



CPのみっちゃん
「パン屋」の店長

先生と言われて40年（3）

一甲宣男先生講演会より

突然の来訪者

附属養護学校に勤めていたころ、上野絹子さんという生徒がいました。上野さんは脳性小児マヒで、労働センター代表の倉田さんのような話し方をされました。私は話をあまりうまく聞き取ることができず、脳性小児マヒも知恵遅れだなという先入観でずっといたわけです。その後、私は龍田小学校にいき、普通学級で重度の障害を持った板見陽子さんを受け持ちました。それで上野さんが龍田小まで私を尋ねてきたんです。1978年1月の音楽の授業中でした。

上野さんは脳性小児マヒのため顔がゆがんで見え、動作もピョコンピョコンと踊るような恰好でしたので、教室のあちこちで子どもたちのささやき声が聞こえました。

「サスペリア・・、エクソシスト・・、八つ墓のたりじゃ・・」

当時恐怖映画がはやっていましたので、そういう事をささやいていたんですね。むごいものでした。上野さんに聞こえたかどうか知りません。気の毒でしたが怒るわけにもいきませんでした。

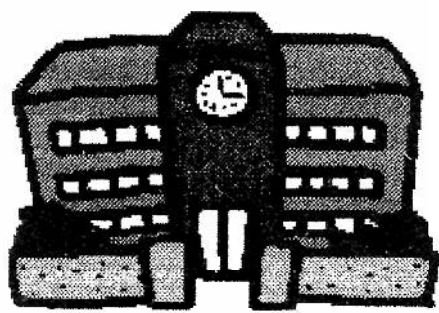
授業が終わってから上野さんと話しましたが、子どもたちは私たちを取り囲んでやり取りを聞いていました。上野さんは一生懸命話しました。

「セ・ン・セ・イ・ショ・メ・イ・シ・テ・ク・ダ・サ・イ」

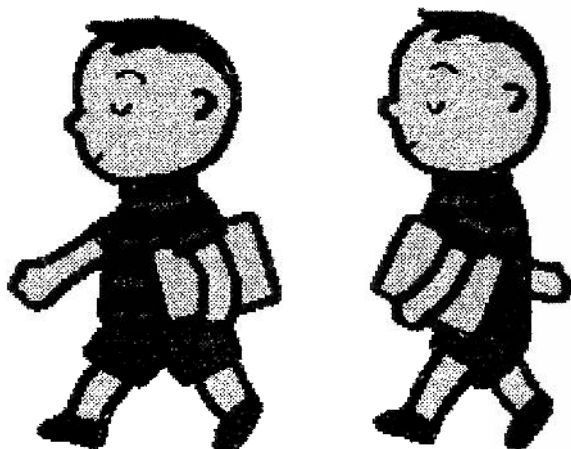
と差し出した書類には自分と同じように手足が不自由な子どもを「普通の小学校に入学させてください」と教育委員会へ出すものだったのです。板見陽子さんは龍田小の普通学級に入学できましたが、その当時は手足の不自由な人はなかなか認められなかったからでした。

上野さんはニコニコして話していましたが、その真剣な話にも私も一生懸命話を聞いていましたら、周りの子どもたちのニヤニヤした表情がだんだん消えていくのがわかってきました。私たちの話が終わった後で上野さんは子どもたちと話し始めたのですが、帰るときには子どもたちと手を振ったり握手したりしていました。

その時私は思いました。子どもたちは板見陽子さんにも最初はいろんなことを言ったけど、後ではどんどん手助けする子どもに変わった。上野さんの表情が歪んでいるのを見て笑っていた子たちがたった数分間話したりしただけで、帰るときには握手したりバイバイと言ったりしてニコニコしていた。そういう姿をみて普通の子もたちと障害を持った子どもたちは一緒にして教育しなくてはいけないと思いました。それと同時に上野さんがなぜ署名活動をして、障害を持っている子どもを普通学級に入れて欲しいと言っているのか意味がわか



りました。一緒に教育することが障害を持った子どもたちにとって意味があるだけでなく、先月号でも述べましたように障害を持っている人や知恵遅れの人が多々普通の学級から外されていくなれば、普通の子たちが障害を持っている子たちのことをぜんぜん知らないという時代になってしまうと恐れたのです。

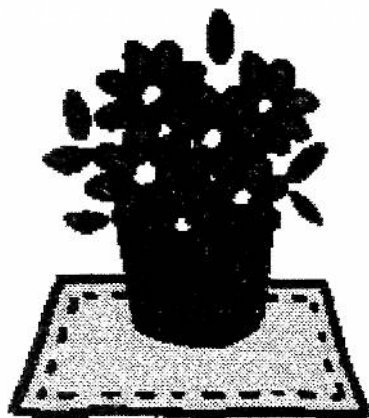


体験交流集会で

上野さんは熊大付属養護学校から松橋の養護学校の高等部にすすんで卒業したあと「みちしお会」で活動を始めました。突然の訪問からしばらくして板見陽子さんとの事を会で話してくれと言ってきました。

「6.4体験交流集会」というのが今から1973年でしたかありました。その時に上野さんが書いた文がここにあります。私はこの人の文を読んでびっくりしました。知恵遅れの養護学校にいたという先入観があったのですが、この文を読んで打ち破られてしまいました。これだけの文を書く人がなぜ養護学校に来たのかと思いました。先月号で述べた計算をした子どもと同じです。これだけの計算力のある子がなぜ養護学校に来たのかと疑問に思うのと同じく上野さんが養護学校に来たのが不思議でならないです。

「私は脳性小児麻痺です。歩きはじめたのが4歳で、6、7歳のころは姉に連れられて近所によく遊びに行きました。その頃はまだ障害者という意識はなく、近所の子どもたちもそういう意識はなかったように思います。いま思い出してみますと、私はそのころが人間として一番幸せだったように思います。」



小学校に入ると集団生活になじめず先生も悩んでおられたようです。2年生に上がった時点で私は特殊学級に籍を置かれました。そして石を投げられ、首降り人形と言われていじめられました。何度泣いたかわかりません。

小学校2年の2学期に松橋療護園の方が空いていたのでそちらの方に転校しました。……中学生活は熊本市内にある熊大附属養護学校です。ここでも私の発達保障は抑えられて私は先生によくからんでいたようです。

1年の終わりがくると同じように普通の学校から切り捨てられた子どもが来て、私の目から見るとどんなにもない子で、私が差別されて来た以上にその子も家庭の事情などで切り捨てられて来た子で、今でもその子と生きることを話していると社会の仕組みの恐ろしさを感じ

じます。……」

上野さんは言語障害で言葉が通じないから知恵遅れと言われた。別の子どもは計算ができるのに家が貧しいということで周りの生徒からいじめられ、今で言う登校拒否になり勉強が出来なくて養護学校に行くことになり、また別の子は朝鮮人であることからいじめられて登校拒否になり勉強が出来なくて養護学校に送り込まれた。そんなことが上野さんには見えていたのです。そういう子が養護学校の中にいた。養護学級や特殊学級についている疑問というのも十分にわかっていた人じゃないかと思います。

こういう事も書いています。

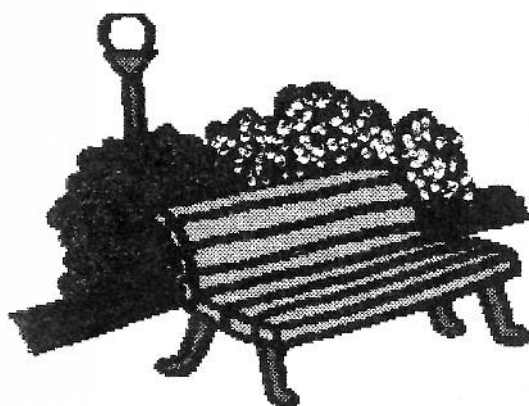
「私にとって機能回復訓練とは何だったのでしょうか」養護学校や特殊学級では機能回復訓練を行っていたんですけど、どきゃんですか機能回復訓練は効果ありましたか。「ぜんぜん、あると思いません」

私はためになると思ってから、ろうそくをふっと吹きけしたり、ピンポン玉を転がさせたり、やらせていたんですよ。今考えると恥ずかしいですけど。

「私にとって機能回復訓練とは何だったのでしょうか。今の私の機能が社会で生きていく上で足りないと言われたら、生きていけなくなってしまう。人間に一人で空を飛ぶ力はあるのでしょうか。私には私の機能の発達環境やふれあう人たちによって左右し、一番発達したときは私にとってもっとも刺激が大きいときだったと思います。」

こういうことが体験交流集会のレポートに書いてあったのです。もう私は負けたと思いました。自分がやってきた特殊学級や養護学校でやってきたことがこれで完全に否定されてしまったと思いました。

今回は板見さんのことを上野さんの話しをもとに考えてみたいと思います。（つづく）



一日断酒

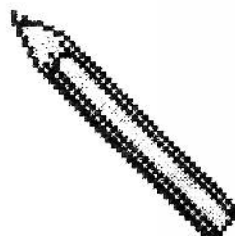
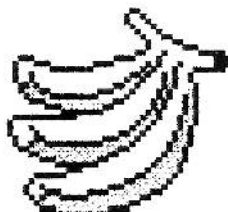
皆さん、お久しぶりです。先日、菊陽病院を退院してきました。

3ヶ月間の入院生活でしたが今回の入院生活は私自身にとっては時間が短く感じました。何故だろうと考えた時菊陽会（断酒会）の役員を3期連続やっていたなかなか自分の時間が取れなくて、ゆっくりできませんでした。自分の部屋と本部とを行ったり来たりしていました。そんなのもあったし、院内で行われているAAミーティングに参加していながら考えた事は本当に酒が止められるものだろうかという不安が生じてきていました。

そんな中、先日、黒髪町のサンライフ熊本でAAオープン・スピーカーズがあり、九州各県下から多くの仲間が集いミーティングがあり、その中で私は今までの考え方が間違っていた事に気づかされました。今までの考え方は迷惑を掛けてきた人たちに償うために酒を止めようと思っていました。でも、AAオープン・スピーカーズで仲間が話した事は酒を止める事は他人のためではなく、自分の幸せのために酒を止めていくのだと語られていました。

私はその話を聞いて、「なるほどだあ、自分の為に酒を止めて立ち直ってまだ苦しんでいる、アルコール依存症者に救いの手を差し伸べる事が我々に残された使命なんだ」と思いました。今はまだ大丈夫なのですが、私の事です、いつまたつぶれるか分かりませんが出来るだけ長く社会生活をしたいと頑張っています。とにかく今回の入院は時間が経つのがものすごく長く感じられました。

アルコールリックの東海



熊本シネマランド

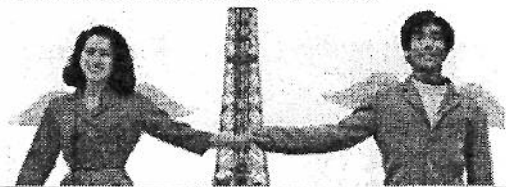
編集協力・キネコム

(熊本に映画博物館を創ろう会)

⑦

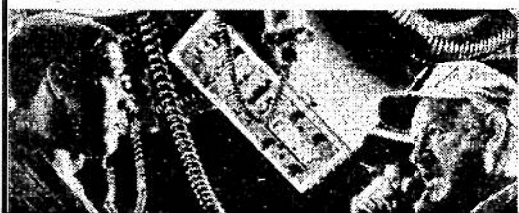
「バースディプレゼント」

傷心のスッチー(和久井映見)と、ちょっとさえないツアコン(岸谷五郎)が、セーヌの畔で出会います。お互いに好意を持ちながらも、小さな嘘が恋の行く手をさえぎり…。笑って・泣かせる素敵なラブストーリー。鈴木杏樹や唐沢寿明・鈴木保奈美も共演。音楽は福山雅治。



「クリムゾン・タイド」

「トップガン」のトニー・スコット監督が、アカデミー賞受賞の個性派スター、デンゼル・ワシントン、ジーン・ハックマンで贈るサスペンス・アクションの超大作。動く要塞・原潜アラバマに「核ミサイル発射せよ」の指令が! 人類の運命を握る艦長と副官との対立の結果は?!



「コンゴ」

「ジュラシック・パーク」「アウトブレイク」に続くベストセラー作家マイケル・クライトンの同名小説の映画化。500万年前にアフリカ大陸の密林を後にして以来、世界中にはびこる“人類”が、アフリカで謎の生命体と遭遇。その瞬間から人類絶滅のドラマが はじまる!!



「蔵」

雪深い新潟—その厳しい自然と過酷な運命に抗して闘う旧家の一人娘・烈。目の見えない闇の世界に生きながら女性で初めての蔵元となっていく烈の波乱の一生を、愛と涙で描く感動の物語。

原作は、宮尾登美子の同名の長編小説「蔵」で大ベストセラー。烈役の一色紗英の体当たりの演技が評判をよんでいるほか、母代わりとなつてひたすら烈をささえる佐穂役に浅野ゆう子が熱演している。自然の四季折々に、日本の原風景を求めるカメラ・ワークが美しい本格的な文芸大作。



「静かな生活」

原作が大江健三郎の同名本。ノーベル賞受賞の世界的な作家と聞いて、さぞかし難解な…と思われるあなた。ご心配なく! 「お葬式」「マルサの女」etc. の伊丹十三監督(大江さんの義弟にあたる)です。実にテンポよく“心がハッとする”エピソードが随所に織りこまれ、面白さに引き込まれていきます。

両親の留守中、脳の発達に障害を持つ兄と暮らす妹、二人の日常は毎日が冒険。ハラハラドキドキしながら、人の持つ“美しい魂”を感じさせられる、近頃になくきれいな作品です。





「マディソン郡の橋」

邦訳本がでるや、あっという間に超ベストセラーになってしまった同名の原作本。本を読んで泣き、映画を観ては二度泣きた人が多いことでしょう。

たった四日間の出会いで、完璧に惹かれ合い二度と逢う事なく人生を終えるまで、愛を全うした男女の物語。「現実には、起こりっこないわね〜」な〜んて白けていないで!心を柔らかくして!たとえ架空の世界でも…!主人公のフランチェスカとロバートのような恋をしてみても?メルル・ストリープの繊細な表現力が素晴らしく、雨の中の別れのシーンには手放して泣けてしまいます。

Let's go to the Movies! 10月下旬〜

毎月1日は映画ファン感謝デー・劇場により、毎週金曜日のサービスデーあり

熊本東映	☎356-7393	蔵(監督/降旗康男・歌/さだまさし)上映中
東宝プラザ	☎352-0952	クリムゾンタイド(ドルビーSRD音響装置) ~11/5
オリオン座	☎352-0953	ジャッジ・ドレッド/レッド・ブロンクス ~11/5 クリムゾンタイド ~11/11
東宝1	☎352-1718	静かな生活 ~10/27 バースディプレゼント 10/28~
東宝2	☎352-1718	ジム・キャリーはMr.ダマー ~10/27 プレイブ・ハート(メル・ギブソン) 10/28~
セントラル劇場	☎353-4050	マディソン郡の橋 上映中
松竹セントラル	☎356-3100	プロゴルファー織部金次郎3 ~11/3 光る眼/ハンテッド ~11/24
シネラックス1	☎352-3592	コンゴ 10/21~
シネラックス2	☎356-7904	GONIN ~10/27 人でなしの恋(羽田美智子) ~11/17

一期一会

たった一日だけの上映会

- ◆「雄呂血」主/阪東妻三郎
10/26PM.2:00~ 大津町オークスプラザ
PM.8:00~ 健軍商店街スタジオ448
- ◆女流活弁士・沢登翠嬢来能
「バスター・キートンのセブン・チャンス」
10/28 PM.1:00~小川町中央公民館
他「鉄眠」「めぐり逢えたら」映画展等
- ◆「午後の遺言状」
・新藤兼人・乙羽信子
11/8 ①PM.1:00~②PM.3:00~ 産文会館
電気館☎352-0110
- ◆「また逢う日まで」主/岡田英次
11/11 ①PM.2:00~②7:00~ ☎338-2752
・武蔵ヶ丘沖畑団地・吉野郁子宅1F小ホール
- ◆「はだかの天使」
11/12 ①10:30~②2:00~
・合志町南部町民センター

総合問合せ/キネコム☎385-3512(ただし夜間8~10:00のみ)

私の好きな映画 「春にして君を想う」

美しい自然を背景に、年老いた男女の道行を詩的に描いたアイスランドの映画。せりふが極端に少なく、静けさが作品を支配する。雄大で荒涼とした幻想的な風景に酔いしれながら、人間の存在のちっぽけさを想う。(熊本市 メイ)

- マディソン郡の橋 京小町
- クリムゾンタイド
- ドルビーSRD音響装置
- バスター・キートン
- 映画肥後狂句

・投稿募集中/招待券進呈/

FAX 385-3657 キネコムまで

9月の日報から

- 5日 水俣石鹼工場から見学
- 9日 パック連会議
- 11日 市役所から見学
- 12日 ミニ講演会（宮部さん）
- 20日 熊福連研修会
- 21日 運営会議
- 30日 リサイクルフェア販売
（辛島公園）

編集後記

一回は退院した倉田代表が、九月に再び吐血し、とうとう十二指腸と胃を切るハメになりました。お腹を少し切るくらいと軽く考えていましたが、手術後の2日間は痛みからくる緊張のためか、呼吸がうまく出来ず、さすがに心配しました。でも、もう落ちついてきたようです。一日ごとに生気を取り戻していく様を見ると、素直に「生命力」を讃えたい気持ちになります。

皆様にはたびたびご心配をおかけしておりますが、センターの方は残った元気な者たちが少しずつ補いあって、講演会の準備に秋のイベントに、よく動いています。

11月12日の講演会には、ぜひご参加下さい。お待ちしております。

9月のパック回収

5日月出小学校	50.7Kg
小天東小学校	13.6Kg
第2ぎんなん作業所	13.6Kg
6日清水さん	0.4Kg
11日出水南小学校	182.6Kg
秋津小学校	94.6Kg
希望荘	6.5Kg
城山小学校	20.0Kg
12日池田さん宅	5.4Kg
ヤマギシ	64.4Kg
18日河内中学校	114.4Kg
19日ヤマギシ	20.9Kg
中通小学校	30.7Kg
菊之池小学校	1.3Kg
西合志東小学校	44.6Kg
出水小学校	20.9Kg
20日慶徳小学校	42.0Kg
一新小学校	61.0Kg
帯山小学校	43.9Kg
希望荘	8.2Kg
山ノ内小学校	74.1Kg
ふじわらさん	4.2Kg
健軍小学校	60.0Kg
画図小学校	103.8Kg
東町小学校	67.7Kg
21日個人	6.6Kg
ソロプチミスト熊本	11.4Kg
22日ひかり幼稚園	87.4Kg
25日月出小学校	39.9Kg
26日サンリー菊陽寿屋	208.7Kg
29日大信商店	63.5Kg

月まとめ 9月分

共生社生協	5885.0kg
くまもと生協	537.7Kg